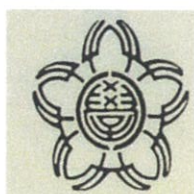


平成26年度 埼玉県校外教育協会委嘱

校外教育 研究紀要

児童のよさや可能性を 引き出し伸ばす豊かな体験活動

～ 一人一人の子に、その子の花を咲かせる取組を通して ～



川島町立伊草小学校

埼玉県比企郡川島町大字伊草238-1

TEL.049-297-0049

<http://igusa193.ec-net.jp/>

1 はじめに

川島町は、埼玉県のほぼ中央に位置し、町の周りを荒川、越辺川、都幾川、市野川の流れに囲まれ、古くから“川越藩のお蔵米”を育てる恵み豊かな田園地帯、自然が豊富な「輪中の郷」である。近年は町を南北に走る国道254号線バイパスと、東西に貫く圏央道が交差する川島インターチェンジ付近を中心に、国内屈指の一大流通基地としても目覚ましく発展を続けている。

本校がある伊草地域は、川越市及び坂戸市に隣接している。都心へのベッドタウンとして開発が進みつつも、新旧住民の方々が力を結集し「おらが学校、伊草小」を支えてくださっている。地域の力に見守られながら育つ本校児童は、明るく元気で、一生懸命に努力しようとする児童が多い。

2 研究の概要

(1) 研究の目的

- ①様々な自然や文化を体験する活動をとおして、何事にも意欲的に取り組む心豊かな児童を育てる。
- ②地域の教育力を得ながら、自ら地域の一員であることを自覚できる児童を育てる。
- ③交流や連携をとおして、生涯を通じ自己実現し続けられる素地を身に付けた児童を育てる。

(2) 研究の手立て

- ①地域を知ることで地域の教材や人材を発掘し「地域と共に学ぶ」「地域から学ぶ」体験活動を年間指導計画へ位置づける。
- ②学校応援団と緊密に連携し、地域の教育力を授業の中に採り入れ積極的に活用する。
- ③学校を開き、学校から地域行事等への参加も推進する。
- ④学校だよりや学年だより、校内掲示、ホームページ等を活用して広く学校の情報を発信する。

3 研究の取組

学校教育目標「やさしさいっぱい、学びいっぱい、力いっぱい」のもと、地域の人材や環境、組織等を結集し、伊草小ならではの特色ある体験活動を積極的に推進することで、研究テーマに迫ることにした。

①豊かな自然を体験する活動

自然を愛し生命の尊さを感じられる豊かな心を育成するために、全校児

童が野菜や草花を栽培した。5年生は、豊作となったスイカを夏休みの水泳学習に来た児童や学童保育の児童に振る舞った。また、育てたキュウリで「すったて」を作ったり、収穫したダイコン等の冬野菜をフェスティバルで販売したり、収穫後の工夫についても考えさせるようにした。



野菜栽培



野菜の販売



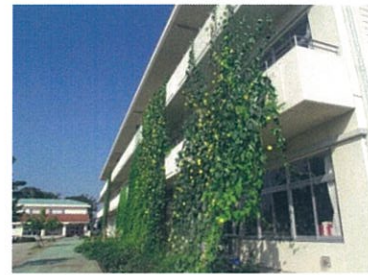
宿泊学習



花の苗植え



郷土料理『すったて』作り



緑のカーテン

②地域の方々とのふれあいと文化、伝統等を体験する活動

地域ボランティアの方々とのふれあいながら、文化や伝統を学んだ。伝統料理「呉汁作り」を伝え受けるなど、本物の体験活動を行いながら自分たちが住む我が町、我がふるさとへの郷土愛や、地域との関わりを積極的に持とうとする心を育てられるようにした。



商工会協力による『呉汁作り』



昔のあそび



まつの木フェスティバル



郷土を往く縦割り遠足



地域の方によるミニコンサート



地域の方々が『川島郷歌』を指導



こども110番の家の方々と顔合わせ会



地域ボランティア『農家の先生』に学ぶ授業



「輪中の郷」地域行事に児童・教師も参加

③密接な連携を図りながらの活動

幼稚園・保育園、卒業生が進学する2校の中学校との連携、また、特別支援学校との交流や伊草公民館等との連携により、児童が学びやすい、地域が一体となった指導を進める。



幼・保・小交流会



新入学児童体験入学



特別支援学校との交流会



中学校吹奏楽部コンサート



中学校教員による出前授業



地域敬老会でのメッセージ発表

4 研究の成果と課題

研究の成果

- ・体験で得た成果が、次の体験への意欲や関心を高めた。
- ・地域との連携や交流を図ることで、地域の一員としての自覚が高まった。
- ・様々な体験をとおし成就感や達成感を味わいながら豊かな心が育まれ、さらにチャレンジしていこうとする自信も生まれてきた。

研究の課題

- ・効果的な活動を実施しようとするほどに、事前準備に時間を要してしまうので、翌年度のためにより綿密な反省や資料を残せるようにしたい。
- ・継続するために、校内コーディネーターの育成、引継ぎを確実にしたい。